

出会い

第7号
発行：大念寺
小矢部市中央町 1-34
TEL0766(67)1260

浄土宗開宗八五〇年慶讃法要

総本山知恩院・大本山清浄華院団体参拝

四月十一〜十二日、総本山知恩院にて勤修された浄土宗開宗八五〇年慶讃法要の団体参拝に行っていました。

富山教区檀信徒会としての参加で、バス三台に乗り合わせ、大念寺からの参加は二十四名と富山教区で最も多い人数となりました。



清浄華院にて全員で記念撮影

一日目は、大念寺直属の大本山・清浄華院を参拝（写真①）、その日は滋賀の雄琴温泉に宿泊しました。そして翌日に、いよいよ総本山・知恩院での法要に参列してまいりました。御影堂で行われた日中法要は北陸ブロック（新潟・富山・石川・福井）が中導師を担当、富山教区からは、教区長である魚津・西願寺住職の長谷川善政上人が勤められました。北陸四地区から



知恩院の山門

参列した檀信徒は五〇〇余名という大団体参拝となりました。

大念寺の団体参拝は、およそ五年前に計画していたものが、コロナ禍によって流れ、今回ちょうど富山教区の団体参拝企画が持ち上がり、相乗りすることになったものです。

本山への参拝は、もちろん個人でもできますが、同じお寺の檀信徒さん達が、住職とともに、大きな節目（開宗八五〇年）にご縁をいただけたことは有難いことだと思えます。今後の節目は法然上人誕生九〇〇年が二〇三三年、もう九年後です。また、ご縁があることを祈念いたします。



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
令和6年

知恩院の慶讃法要に参加



清浄華院にて



参加する落語会 「くまのこ」始めます

「てらかつ」の新メニューとして落語会をスタートします。先ずは第0回目として六月から実験的に始めます。噺家さんは昨年からは金沢でご縁があった「かはづ亭みなみ」さんです。東京と金沢を行き来する落語家兼舞台女優さんです。

通常の落語会は、噺家さんの話を聴くだけですが、「ごくらくこ」では、聞き手も参加します。一席の後、観客も一体となって「誰でもできる！簡単大喜利大会」をやります。その後で、お茶を飲みながらの茶話会も実施します。

週末のひと時、ちよっと家から出て、お寺に足を運んでみませんか。きつと笑顔が増えると思います。
六月十五日（土）
夜七時〜八時半頃まで
参加費・五〇〇円



かはづ亭みなみさん

マインドフルネスって何？

「瞑想・念仏」

「マインドフルネス」という言葉を耳にしたことがある人は多いと思います。ザクッと言えば「今起きていることに集中する瞑想法」です。東洋では三〇〇〇年前から実践してきた瞑想で、仏教がベースの伝統的なものです。

それが、なぜ今注目されているのか？一九六〇年代からアメリカで注目され始め、医療行為としても、認知行動療法等に発展しました。二十一世紀に入り、再びアメリカでブームとなり、ビジネスパー



ソンの生産性を高めるリラックステクニクとして、日本でも認知されるようになりました。基本は自分の呼吸に集中するのですが、雑念が生まれるので、「余計なことを考えている、考えている・・・」と心の中で繰り返し雑念を追い払います。その他、体の様々な部位に注意を向けて、その時に起こっている身体感覚に注意を集中します。

浄土宗の僧侶になるための修行では、歩きながら、または礼拝（五体投地）しながらお念仏を、ほぼ一日中称えます。動作を伴うお念仏は身体感覚に気付きやすく、まさにマインドフルな状態になりやすいと言えます。これにより集中力が増し、観察力が高まるのです。

別時念仏で木魚を叩きながら念仏をする動作にも、近いものがあると思います。墓じまい、葬儀、法要の簡略化が進み、仏教離れと言われて久しいのですが、マインドフルネスに代表されるように、ビジネスパーソンの自己啓発等、いわゆる仏道という部分では、仏教は逆に注目されています。

大念寺では「てらかつ」として「別時念仏」「写経会」などを定期開催しています。日常からちよつと離れたお寺の環境に、しばしの間身を置いてみてはいかがでしょう。お待ちしております！

大念寺の ⑤ 仏さま紹介

苦行像

【釈迦如来】
しゃかによらい



お釈迦様が苦行中の様子

苦行するお釈迦さん仏像はパキスタンのラホール美術館にある坐像が有名のようで、国内のお釈迦様の苦行像は、ほとんどがこれを模しているように思います。ネット検索すると見事にこのタイプしか表示されません。

そうなる、大念寺の苦行像は独特です。先ず立像であること、表情に力があり、うつろな目は正に苦行の過酷さを感じさせます。テレビの鑑定局風に言えば、作品としての素晴らしさを感じます！昔から、お寺の後堂に元本尊様とともに鎮座されているもので、元々どこにあったものなのか？いつ頃のものなのか？誰が作ったのか？残念ながら何にもわからないのです。

子供の頃、薄暗い後堂でこの苦行像を見ると、ギョツとしたものです。リアリティがあるのです。

第二十九世晋山式 今秋の勤修が決定

四月十八日（木）大念寺総会が開催され、令和五年度の事業報告ならびに護学会費等収支決算報告を行い承認いただきました。そして、晋山式についても計画が発表され、審議いただき、概ね承認いただきました。今後、皆様からいただきましたご意見を反映させ、総代会にはかりつつ、次第を決定させていただきます。

「晋山式」並びに「晋山披露宴と二十八世住職在職五十五年感謝の集い」は、本年十一月三日（日）に開催いたします。正式なご案内は、もう少し時期が近づきましたらご案内させていただきます。

編集後記

浄土宗では、全国各地で開宗八五〇年の慶讃法要が行われています。団体参拝にも多くの人が参加されて、ここ数年コロナ禍で滞っていたことが、普通に行えるようになった有難さを感じています。「あたりまえ」に感謝し、「ありがとう」を口に出せる幸せ。そんな小さな幸せが積み重なると、心が豊かになります。副住職